



なぜ人は自分を責めてしまうのか

2026年 **4月26日(日)**

10:00～16:30 (9:30開場)

DVや虐待などの関係性の中では、被害を受けているにもかかわらず、「私が悪い」と自分を責める思考が生まれることがあります。その自責感、相手を世話する行動へとつながり新たな加害や、関係の固定化を生むこともあります。午前の部は、長年家族の問題と向き合ってきた信田さよ子先生によるご講演です。－「人は自分の存在を否定することで究極の世界の合理性を獲得している」(ご著書より)。自責感がどのように形成されるのかお話しいただきます。午後の部は、被害者支援や加害者プログラムに携わる実践家を迎え、現場の視点から今後の支援への活かし方を考えます。



撮影：山本あゆみ

【講師・指定討論】

のぶた

信田さよ子先生

原宿カウンセリングセンター顧問
日本公認心理師協会会長

会場

出島メッセ長崎 1F会議室102
(長崎駅西口直結)

対象

第1部：どなたでもご参加いただけます (定員 120名)

第2部：対人援助に携わっておられる方向けとなります (定員 80名)

▶お申し込み方法は裏面をご覧ください

※終日参加の方を対象に、臨床心理士研修ポイント2P申請予定

第1部 10:00～12:00 基調講演 (一般公開)

なぜ人は自分を責めてしまうのか

信田さよ子先生

第2部 13:30～16:30 シンポジウム (対人援助者向け)

支配と自責から読み解く被害者支援・加害者プログラム

【シンポジスト】

- DV被害者支援の立場から **中田慶子さん**
(NPO法人 DV防止ながさき 理事長)
- 精神医学の立場から **加来洋一先生**
(長崎こども・女性・障害者支援センター 所長)
- 盗撮加害臨床の立場から **久持修**
(当オフィス 代表)

【指定討論】

信田さよ子先生

午前の部に引き続き、豊富なご経験に基づいて、討論を深める視点をご提示いただきます。

【司会】

法澤直子 (当オフィス長崎ルーム室長)



参加費

- 第1部のみ参加（基調講演・どなたでも）： ¥3,000
- 第2部のみ参加（シンポジウム・支援者向け）： ¥4,000
- 終日参加： ¥7,000

（臨床心理研修ポイントは、終日参加の方のみ対象となります）

※ クレジットカード決済のみのお取り扱いとなります

お申込み

ホームページ内、研修ページから
申込み決済フォームへおすすみください。



受付：4/19（日）正午まで

※ 定員になり次第、締め切りとなります。

〈やまき心理臨床オフィス長崎ルーム HP〉

信田 さよ子氏 プロフィール

1946年生まれ。お茶の水女子大学大学院修士課程終了後、駒木野病院勤務等を経て、1995年原宿カウンセリングセンター設立。2021年5月で所長を引退し現在は顧問。アディクション、摂食障害、ひきこもりの本人とその家族、DV、子ども虐待、ハラスメントや性暴力の加害者・被害者などのカウンセリングを行ってきた。DV加害者プログラム実施中。日本公認心理師協会会長、日本臨床心理士会理事。

著書に「アディクションアプローチ」「DVと暴力」「加害者は変わるか」「母が重くてたまらない」「アディクション臨床論」「家族と国家は共謀する」「タフラブ・絆を手放す生き方」など多数。近著に「なぜ人は自分を責めてしまうのか」（ちくま新書）。

お問合せ先 やまき心理臨床オフィス長崎ルーム

〒850-0831 長崎市鍛冶屋町6-5 光風堂ビル 7B-1

HP：<https://www.yamakioffice-nagasaki.com>

TEL：095-893-8089

MAIL：mail@yamakioffice-nagasaki.com（担当：高木・田中）